

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2023年4月14日まで（2013年4月22日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	リスク・パリティ $\alpha$ オープン	アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）受益証券およびマネー・プール マザーファンド受益証券
	アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）	世界各国の株式、債券、コモディティおよび短期金利の指数等に係るスワップ取引または先物取引に係る権利
	マネー・プールマザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>主として、世界各国の株式、債券、コモディティ、短期金利の指数等に関するスワップ取引・先物取引を活用します。</li> <li>アキラ・キャピタルの「リスク・パリティ戦略」を活用した運用を行います。</li> <li>原則として、対円で為替ヘッジを行います。</li> </ul>	
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</li> <li>株式への直接投資は行いません。</li> </ul>	
分配方針	毎年4月14日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

### リスク・パリティ $\alpha$ オープン



第4期（決算日：2017年4月14日）



#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「リスク・パリティ $\alpha$ オープン」は、去る4月14日に第4期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034  
 (9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)  
 お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率	純資産総額
		税込み	騰落	中率				
(設定日) 2013年4月22日	円 10,000	—	—	—	—	—	—	百万円 2,952
1期(2014年4月14日)	9,550	0	△4.5	0.1	—	98.9	3,507	
2期(2015年4月14日)	10,139	0	6.2	0.0	—	99.0	1,592	
3期(2016年4月14日)	8,824	0	△13.0	0.0	—	99.0	1,146	
4期(2017年4月14日)	9,279	0	5.2	—	—	99.0	814	

- (注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。
- (注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
- (注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。
- (注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	投資信託組入比率
		騰落	率			
(期首) 2016年4月14日	円 8,824	—	—	0.0	—	99.0
4月末	8,796	△0.3	0.0	—	—	99.0
5月末	8,899	0.8	0.0	—	—	99.0
6月末	9,047	2.5	0.0	—	—	99.0
7月末	9,041	2.5	0.0	—	—	99.0
8月末	9,083	2.9	0.0	—	—	99.0
9月末	9,078	2.9	—	—	—	99.1
10月末	8,834	0.1	—	—	—	99.0
11月末	8,663	△1.8	—	—	—	99.0
12月末	8,874	0.6	—	—	—	99.0
2017年1月末	8,790	△0.4	—	—	—	99.0
2月末	9,190	4.1	—	—	—	99.1
3月末	9,148	3.7	—	—	—	99.0
(期末) 2017年4月14日	9,279	5.2	—	—	—	99.0

- (注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。
- (注) 騰落率は期首比。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

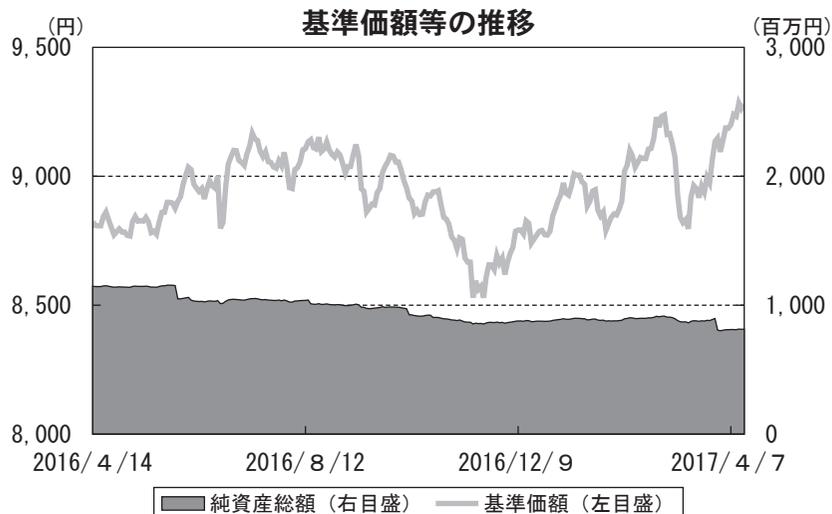
## 運用経過

### 当期中の基準価額等の推移について

(第4期：2016/4/15～2017/4/14)

#### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ5.2%上昇しました。



### 基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

株式市況やコモディティ市況の上昇が、基準価額の上昇要因となりました。

## 投資環境について

(第4期：2016/4/15～2017/4/14)

## ◎株式市況

- ・先進国の株式市況は、上昇しました。英国の国民投票で欧州連合（EU）離脱が選択されたこと（Brexit）などが下落の一因となったものの、トランプ米大統領政権に対する政策期待や米国や欧州における堅調な経済指標などが好感され、上昇しました。

## ◎債券市況

- ・先進国の債券利回りは、上昇しました。2016年6月末までは、米金融当局者が利上げに対し慎重な姿勢を示したことやBrexitの影響などから低下傾向となりました。その後は、トランプ米大統領就任に伴うインフレ期待の高まりや米国における利上げ実施、利上げペースの拡大期待などから、利回りは上昇しました。

## ◎短期金利（約2年後に期限が満了する金利先物）

- ・米ドルの短期金利は、米利上げや利上げ期待の高まりなどから、上昇しました。
- ・ユーロの短期金利は、米国の要因の他、欧州における堅調な経済指標などを受け、上昇しました。
- ・英ポンドの短期金利は、Brexitなどにより低下し、その後、欧米を中心とした外部環境要因などから上昇したものの、期を通しては低下しました。

## ◎コモディティ市況

- ・コモディティ市況は、上昇しました。
- ・金価格は、米利上げなどが下落要因となった一方、インフレ期待が高まったことなどが上昇要因となり、上昇しました。
- ・原油価格は、石油輸出国機構（OPEC）で減産が合意されたことなどから、上昇しました。

◎国内短期金融市場

<無担保コール翌日物金利の推移>

- ・日本銀行による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。日本銀行のマイナス金利の適用を受けて、足下ではマイナス0.05%程度で推移しました。

<国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移>

- ・日本銀行による短期国債の買入れや短期国債の需給の引き締めなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りは0%を下回る水準で推移しました。期首から低下傾向となり、2016年12月末にはマイナス0.45%程度まで低下しました。その後、短期国債の入札不調などから上昇傾向となり、足下はマイナス0.11%程度で推移しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<リスク・パリティ $\alpha$ オープン>

- ・円建の外国投資信託であるアキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）受益証券に投資を行いました。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。

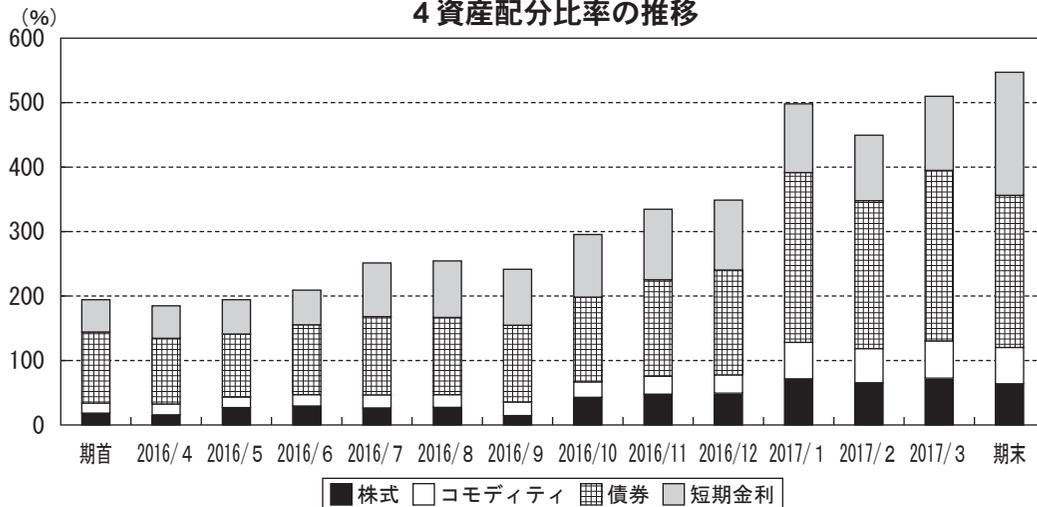
<アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）>

- ・主として世界各国の株式、債券、コモディティ、短期金利の指数等に関するスワップ取引・先物取引を活用し、アキラ・キャピタルの「リスク・パリティ戦略」を活用した運用を行いました。また、為替変動の影響を受ける部分について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。
- ・ポートフォリオの構築にあたっては、①「株式」「債券」「コモディティ」「短期金利」の4つの資産に対して、「リスク・パリティ戦略」による分散投資、②アルファ・モデルによるさらなる投資効率の追求のため配分比率の調整、③フロアの設定による月間損失率のコントロールを行いました。
- ・また、目標リスク水準をめざした結果、期初から2016年11月までの4資産の合計組入比率は200~300%程度、その後は4資産とも徐々に組入比率を引き上げ、期末の合計組入比率は547.2%としました。
- ・スワップ取引および先物取引に必要な証拠金以外の資金の一部を、残存期間の短いドイツ国債（先進国国債）に投資を行いました。
- ・当期は、株式市況やコモディティ市況が上昇したことが、プラスに寄与しました。

（注）当記載は、アキラ・キャピタル・コンセプツ・ゲーエムベーハーの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

(ご参考)

#### 4 資産配分比率の推移



- ・ 比率はアキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）の純資産総額に対する割合で、債券（現物資産）、現金等、為替取引は含みません。
- ・ 4資産配分比率は現地月末の値、期首は2016年4月13日の値、期末は2017年4月13日の値です。

#### <マネー・プール マザーファンド>

わが国の国債やコール・ローンおよびCP現先取引などへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行いましたが、運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は期首と比べて下落しました。

### 当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

### 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

#### 【分配原資の内訳】

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第4期
	2016年4月15日～2017年4月14日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	449

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

### <リスク・パリティ $\alpha$ オープン>

#### ◎今後の運用方針

- ・引き続き、円建の外国投資信託であるアキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）受益証券に投資を行います。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行います。

### <アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（JPY）>

#### ◎今後の運用方針

- ・引き続き、主として世界各国の株式、債券、コモディティ、短期金利の指数等に関するスワップ取引・先物取引を活用し、アキラ・キャピタルの「リスク・パリティ戦略」を活用した運用を行います。また、為替変動の影響を受ける部分について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。
- ・ポートフォリオの構築にあたっては、①「株式」「債券」「コモディティ」「短期金利」の4つの資産に対して、「リスク・パリティ戦略」による分散投資、②アルファ・モデルによるさらなる投資効率の追求のため配分比率の調整、③フロアの設定による月間損失率のコントロールを行う方針です。

（注）当記載は、アキラ・キャピタル・コンセプト・ゲーエムベアハーの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

### <マネー・プール マザーファンド>

#### ◎運用環境の見通し

- ・原油価格の上昇などを背景に物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日本銀行の物価目標である2%には届かないと考えています。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

#### ◎今後の運用方針

- ・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引などへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行います。

○1万口当たりの費用明細

(2016年4月15日～2017年4月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
( 投 信 会 社 )	( 43 )	( 0. 485 )	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	( 68 )	( 0. 755 )	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	( 3 )	( 0. 032 )	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0. 011	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 1 )	( 0. 011 )	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	( 0 )	( 0. 000 )	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	115	1. 284	
期中の平均基準価額は、8,953円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年4月15日～2017年4月14日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド(JPY)	千口	千円	千口	千円
		—	—	443,563	388,488

(注) 金額は受渡代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2016年4月15日～2017年4月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2017年4月14日現在)

### ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		千口	千口	千円	%
アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド(JPY)		1,329,831	886,268	806,327	99.0
合 計		1,329,831	886,268	806,327	99.0

(注) 比率はリスク・パリティ $\alpha$ オープンの純資産総額に対する比率。

### 親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
マネー・プール マザーファンド		0.995	0.995	0.999

## ○投資信託財産の構成

(2017年4月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 806,327	% 98.3
マネー・プール マザーファンド	0.999	0.0
コール・ローン等、その他	13,600	1.7
投資信託財産総額	819,927	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年4月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	819,927,931
コール・ローン等	13,599,831
投資信託受益証券(評価額)	806,327,101
マネー・プール マザーファンド(評価額)	999
(B) 負債	5,637,413
未払信託報酬	5,590,088
未払利息	17
その他未払費用	47,308
(C) 純資産総額(A-B)	814,290,518
元本	877,567,802
次期繰越損益金	△ 63,277,284
(D) 受益権総口数	877,567,802口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,279円

<注記事項>

- ①期首元本額 1,299,755,638円  
 期中追加設定元本額 49,043円  
 期中一部解約元本額 422,236,879円  
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9279円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は63,277,284円です。

③分配金の計算過程

項 目	2016年4月15日～ 2017年4月14日
費用控除後の配当等収益額	－円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	6,855,647円
分配準備積立金額	32,615,043円
当ファンドの分配対象収益額	39,470,690円
1万口当たり収益分配対象額	449円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お知らせ】

2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5% (法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。

○損益の状況 (2016年4月15日～2017年4月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 4,932
受取利息	203
支払利息	△ 5,135
(B) 有価証券売買損益	52,298,512
売買益	64,494,310
売買損	△12,195,798
(C) 信託報酬等	△12,411,732
(D) 当期損益金(A+B+C)	39,881,848
(E) 前期繰越損益金	△96,857,796
(F) 追加信託差損益金	△ 6,301,336
(配当等相当額)	( 6,855,647)
(売買損益相当額)	(△13,156,983)
(G) 計(D+E+F)	△63,277,284
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△63,277,284
追加信託差損益金	△ 6,301,336
(配当等相当額)	( 6,855,647)
(売買損益相当額)	(△13,156,983)
分配準備積立金	32,615,043
繰越損益金	△89,590,991

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2017年4月14日現在）

<マネー・プール マザーファンド>

下記は、マネー・プール マザーファンド全体(277,878千口)の内容です。

国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 199,999	% 71.6

（注）比率は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

## 〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、リスク・パリティ $\alpha$ オープンが投資対象とする円建の外国投資信託証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

投資の基本方針	<p>主として、世界各国の株式、債券、コモディティ、短期金利の指数等に関するスワップ取引・先物取引を活用します。また、為替変動の影響を受ける部分については、原則として対円で為替ヘッジを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スワップ取引および先物取引は、実質的に投資対象となる各資産について、原則としてロング・ポジション（買い持ち）を構築します。</li> <li>先物取引については、組入比率の調整を目的として、売建てを行う場合があります。</li> <li>・スワップ取引および先物取引以外の部分については、主として先進国の国債に投資を行います。</li> </ul>
運用方針	<p>アキラ・キャピタル・コンセプト・ゲーエムベーハーの「リスク・パリティ戦略」を活用した運用を行います。</p> <p>当戦略では、各資産それぞれの価格変動がポートフォリオ全体のパフォーマンスに与える影響度がおおむね均等となるように分散投資を行います。</p>
投資顧問会社	アキラ・キャピタル・コンセプト・ゲーエムベーハー※
信託期限	無期限
設定日	2013年4月22日
会計年度	毎年12月末
収益分配	原則として、毎月分配を行います。

※アキラ・キャピタル・コンセプト・ゲーエムベーハー（所在地：独ハンブルグ）は、オルタナティブ投資に特化したドイツの独立系運用会社です。同社では、2004年よりリスク・パリティ戦略を用いたファンドの運用を行っています。

## アキラ・キャピタル・リスク・パリティ12ファンド（ＪＰＹ）

損益計算書、純資産変動計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

## 1. 損益計算書

(2015年12月30日に終了する期間)

(円で表示)

## 費用

運用受託報酬	17,855,346
保管費用	9,293,284
専門家報酬	8,244,949
会計処理および管理手数料	5,705,475
登録手数料	1,095,719
償却費用	1,073,197
受託者報酬	968,452
名義書換事務代行手数料	296,119
その他の費用	90,814
<b>費用合計</b>	<b>44,623,355</b>

## 投資純損益

(44,623,355)

## 実現および未実現損益：

## 実現損益：

投資有価証券	6,543,988
先物取引	176,548,090
スワップ取引	(144,493,331)
外国為替取引および外国為替予約取引	(8,275,452)
<b>実現純損益</b>	<b>30,323,295</b>

## 未実現評価損益の純変動：

投資有価証券	(114,295,914)
スワップ取引	(1,518,303)
先物取引	(6,683,645)
外国為替取引および外国為替予約取引	(530,641)
<b>未実現評価損益の純変動</b>	<b>(123,028,503)</b>

## 実現および未実現損益（純額）

(92,705,208)

## 営業活動による純資産の増減（純額）

¥ (137,328,563)

(注) ( ) 内の金額は、マイナスの金額です。

## 2. 純資産変動計算書

(2015年12月30日に終了する期間)

(円で表示)

<b>運用による純資産の増減額：</b>	
投資純損益	¥ (44,623,355)
実現純損益	30,323,295
未実現評価損益の純変動	(123,028,503)
<b>運用による純資産の増減額</b>	<b>(137,328,563)</b>
分配額	(101,815,411)
ファンドユニットの取引による純資産の増減額	(393,091,806)
純資産の増減額	(632,235,780)
<b>純資産</b>	
期首	1,800,963,785
期末	<b>¥ 1,168,728,005</b>

## Class A

<b>ファンドユニット取引</b>	
ユニット数	
発行	434,333,185
買戻し	105,159,483
償還	(939,402,780)
<b>ユニット増減数</b>	<b>(399,910,112)</b>
金額	
発行	¥ 428,520,820
買戻し	101,815,411
償還	(923,428,037)
<b>ファンドユニット取引による増減額</b>	<b>¥ (393,091,806)</b>

(注) ( ) 内の金額は、マイナスの金額です。

### 3. 投資明細表

(2015年12月30日現在)

元本金額	銘柄名	純資産比率	公正価値
	<b>FIXED INCOME SECURITIES (61.4%)</b>		
	<b>GERMANY (61.4%)</b>		
	<b>GOVERNMENT BONDS (61.4%)</b>		
	Bundesobligation		
EUR 2,500,000	1.25% due 10/14/16		¥ 333,543,102
EUR 1,700,000	2.75% due 04/08/16		225,819,326
	Bundesschatzanweisungen		
EUR 1,200,000	0.25% due 06/10/16		158,562,354
	<b>TOTAL GOVERNMENT BONDS</b>		<u>717,924,782</u>
	<b>TOTAL GERMANY (Cost ¥726,080,418)</b>		<u>717,924,782</u>
	<b>TOTAL FIXED INCOME SECURITIES (Cost ¥726,080,418)</b>		<u>717,924,782</u>
	<b>SHORT-TERM INVESTMENTS (1.4%)</b>		
	<b>GRAND CAYMAN (1.4%)</b>		
	<b>TIME DEPOSITS (1.4%)</b>		
	Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Ltd.		
JPY 13,866,537	0.01% due 01/04/16		13,866,537
	Brown Brothers Harriman & Co.		
EUR 15,315	(0.31)% due 12/31/15 (a)		2,017,793
USD 774	0.13% due 12/31/15		93,306
	<b>TOTAL TIME DEPOSITS</b>		<u>15,977,636</u>
	<b>TOTAL GRAND CAYMAN (Cost ¥15,778,858)</b>		<u>15,977,636</u>
	<b>TOTAL SHORT-TERM INVESTMENTS (Cost ¥15,778,858)</b>		<u>15,977,636</u>
	<b>TOTAL INVESTMENTS (Cost ¥741,859,276)</b>	<b>62.8%</b>	<b>¥ 733,902,418</b>
	<b>CASH AND OTHER ASSETS IN EXCESS OF LIABILITIES</b>	<b>37.2</b>	<b>434,825,587</b>
	<b>NET ASSETS</b>	<b>100.0%</b>	<b>¥ 1,168,728,005</b>

(a) Due to the European Central Bank deposit rate cut, interest rates for euro denominated short-term instruments may be less than zero percent.

（2015年12月30日現在）

## 先物取引

Cash in the amount of ¥198,467,037 has been pledged as collateral for the following futures contracts as of December 30, 2015.

ポジション	銘柄	限月	契約		未実現 評価損益
Long	3-Month Euro Euribor Future	12/2017	2	¥	(97,167)
Long	90-day Eurodollar Future	12/2017	22		(1,027,476)
Long	90-Day Sterling Future	12/2017	14		(781,427)
Long	Australia Government 10-Year Bond Future	03/2016	2		210,323
Long	Canada Government 10-Year Bond Future	03/2016	28		6,354,339
Long	E-mini S&P 500 Future	03/2016	20		3,320,464
Short	EUR/JPY Future	03/2016	(44)		10,277,500
Long	Euro-BTP Italian Government Future	03/2016	7		505,927
Long	Euro-Bund Future	03/2016	6		(471,672)
Long	Euro-OAT Future	03/2016	6		(436,099)
Long	Long Gilt Future	03/2016	17		(2,198,714)
Long	Mini 10-Year JGB Future	03/2016	17		935,000
Long	Euro STOXX 50 Future	03/2016	61		5,285,886
Long	US 10 Year Note Future	03/2016	23		(1,698,630)
				¥	<u>20,178,254</u>

## トータル・リターン・スワップ取引

Cash in the amount of ¥221,396,669 has been pledged as collateral for the following open swap contracts as of December 30, 2015.

想定元本	支払/受取	参照指標	取引相手	通貨	終了日	時価	プレミアム 支払(受取)	未実現 評価損益
4,813,978	Pay 0.49%	UBS Bloomberg CMCI Composite USD Excess Return Index	UBS	USD	6/17/2016	¥ (4,998,558)	¥ -	¥ (4,998,558)
4,496,939	Pay 0.12%	UBS G10 Rolling Duration Index	UBS	EUR	4/25/2016	-	-	-
765,196	Pay USD- LIBOR-BBA plus 0.35%	MSCI World Risk Weighted Net TR Index	UBS	USD	6/17/2016	404,241	-	404,241
						¥ (4,594,317)	¥ -	¥ (4,594,317)

(2015年12月30日現在)

## デリバティブ商品の額

The following table is a summary of the Fund's derivative positions inclusive of potential netting arrangements.

	取引相手	デリバティブ 資産の額	デリバティブ 負債の額	差入担保金*	受取担保金*	純額**
店頭デリバティブ スワップ取引	UBS	¥ 404,241	¥ (4,998,558)	¥ 4,594,317	- ¥	-
マスターネットリング契約の 対象となるデリバティブ合計		¥ 404,241	¥ (4,998,558)	¥ 4,594,317	- ¥	-

\*Actual collateral pledged/(received) may be more than disclosed in the table above.

\*\* Net represents the receivable/(payable) that would be due from/(to) the counterparty in an event of default. Netting may be allowed across transactions traded under the same legal agreement with the same legal entity.

## 通貨略称

EUR	-	Euro
JPY	-	Japanese Yen
USD	-	United States Dollar

## マネー・プール マザーファンド

### 《第15期》決算日2017年1月16日

[計算期間：2016年7月15日～2017年1月16日]

「マネー・プール マザーファンド」は、1月16日に第15期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第15期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	純資産額
	円	%	%	%	百万円
11期(2015年1月14日)	10,047	0.0	84.8	—	1,179
12期(2015年7月14日)	10,049	0.0	85.2	—	821
13期(2016年1月14日)	10,049	0.0	70.3	—	852
14期(2016年7月14日)	10,050	0.0	62.2	—	241
15期(2017年1月16日)	10,047	△0.0	—	—	355

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債組入比率	債券先物比率	債券率
(期首)	円	%	%	%	%
2016年7月14日	10,050	—	62.2	—	—
7月末	10,049	△0.0	63.1	—	—
8月末	10,048	△0.0	66.0	—	—
9月末	10,047	△0.0	—	—	—
10月末	10,047	△0.0	—	—	—
11月末	10,047	△0.0	—	—	—
12月末	10,047	△0.0	—	—	—
(期末)					
2017年1月16日	10,047	△0.0	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

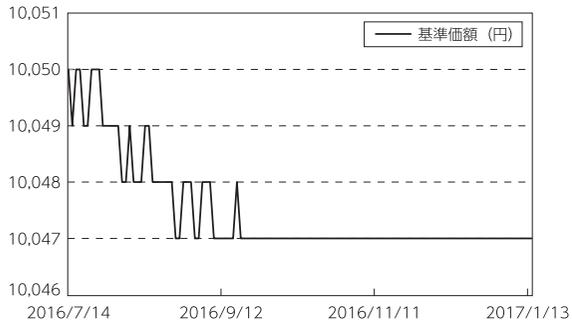
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べて0.03%の下落となりました。

基準価額の推移



## ●投資環境について

## ◎国内短期金融市場

## &lt;無担保コール翌日物金利の推移&gt;

・日銀による金融緩和政策の影響を受けて、無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。日銀のマイナス金利の適用を受けて、足下ではマイナス0.05%程度で推移しました。

## &lt;国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りの推移&gt;

・日銀による短期国債の買入れや短期国債の需給の引き締めなどから、国庫短期証券（3ヵ月物）の利回りはマイナス0.2%を下回る水準で推移しました。2016年12月末にはマイナス0.45%まで低下しました。その後、短期国債の入札不調などから上昇傾向となり、足下はマイナス0.27%程度で推移しました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

・わが国の国債やコール・ローンおよびCP現先取引などへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行いました。運用資金に対するマイナス金利適用などの影響を受けて、基準価額は期首と比べて下落しました。

## ○今後の運用方針

## ◎運用環境の見通し

・原油価格の上昇などを背景に物価は緩やかに上昇していくと予想していますが、日銀の物価目標である2%には届かないと考えています。したがって、今後も金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は低位で推移すると予想しています。

## ◎今後の運用方針

・わが国の国債や短期国債（国庫短期証券）現先取引、コール・ローンおよびCP現先取引などへの投資を通じて、安定した収益の確保や常時適正な流動性の保持をめざした運用を行います。

## ○1万口当たりの費用明細

(2016年7月15日～2017年1月16日)

該当事項はございません。

## ○売買及び取引の状況

(2016年7月15日～2017年1月16日)

## 公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 —	千円 — (150,000)

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還等による増減分です。

## その他有価証券

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 16,099,992	千円 15,799,993

(注) 金額は受渡代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2016年7月15日～2017年1月16日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2017年1月16日現在)

## 国内その他有価証券

区 分	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コマーシャル・ペーパー	千円 299,999	% 84.4

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

## ○投資信託財産の構成

(2017年1月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
その他有価証券	千円 299,999	% 84.4
コール・ローン等、その他	55,403	15.6
投資信託財産総額	355,402	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年1月16日現在)

項目	当期末
(A) 資産	355,402,840
コール・ローン等	55,403,013
その他有価証券(評価額)	299,999,827
(B) 負債	192
未払解約金	112
未払利息	80
(C) 純資産総額(A-B)	355,402,648
元本	353,746,538
次期繰越損益金	1,656,110
(D) 受益権総口数	353,746,538口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,047円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 240,621,739円  
 期中追加設定元本額 527,320,395円  
 期中一部解約元本額 414,195,596円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0047円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

世界好利回りCBファンド 2013-03 為替ヘッジあり	99,642円
世界好利回りCBファンド 2013-03 円高ヘッジ・円安追随型	99,642円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2013-12	99,582円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-02	99,572円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-03	99,572円
短期ハイ・イールド債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-04	99,562円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-09	99,553円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2014-12	99,533円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジあり) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし) 2015-03	99,523円
先進国高利回り社債ファンド(為替ヘッジなし・早期償還条項付) 2015-03	99,523円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	1,692,054円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	200,000円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	1,008,738円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース(毎月決算型)	63,697円
新興国公社債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	6,316,452円
新興国公社債オープン(通貨選択型) 中国元コース(毎月決算型)	19,989円
新興国公社債オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンド(年2回決算型)	7,175,109円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	5,154,901円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	49,966円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	995,161円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	2,234,005円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) 中国元コース(毎月決算型)	28,349円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	1,013,875円
世界投資適格債オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンドII(年2回決算型)	6,982,652円
マナー・プール・ファンドIV	1,144,801円
マナー・プール・ファンドVI	225,471,608円
マナー・プール・ファンドVII(適格機関投資家専用)	976,338円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	4,314,823円

## ○損益の状況 (2016年7月15日~2017年1月16日)

項目	当期
(A) 配当等収益	446,914
受取利息	465,423
支払利息	△ 18,509
(B) 有価証券売買損益	△ 511,500
売買損	△ 511,500
(C) 当期損益金(A+B)	△ 64,586
(D) 前期繰越損益金	1,192,125
(E) 追加信託差損益金	2,478,977
(F) 解約差損益金	△1,950,406
(G) 計(C+D+E+F)	1,656,110
次期繰越損益金(G)	1,656,110

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型)	米ドルコース (毎月決算型)	119,857円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型)	豪ドルコース (毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型)	ブラジル・レアルコース (毎月決算型)	15,855,020円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型)	中国元コース (毎月決算型)	19,977円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型)	インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)	554,401円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型)	資源国通貨バスケットコース (毎月決算型)	1,608,548円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型)	トルコ・リラコース (毎月決算型)	19,961円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型)	メキシコ・ペソコース (毎月決算型)	19,925円
米国ハイ・イールド債オープン (通貨選択型)	マナー・プール・ファンドV (年2回決算型)	26,506,066円
米国高利回り社債ファンド (毎月決算型)		999円
米国高利回り社債・円ファンド (毎月決算型)		999円
米国高利回り社債・ブラジル・レアルファンド (毎月決算型)		999円
トレンド・アロケーション・オープン		997,308円
国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 成長型		99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジ) 分配型		99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 成長型		99,562円
国際オルタナティブ戦略 Q T X - ウィントン・アルファ・インベストメント・オープン (円ヘッジなし) 分配型		99,561円
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり		99,682円
エマージング社債オープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし		99,682円
国際オーストラリア債券オープン (毎月決算型)		997円
リスク・パリティ $\alpha$ オープン		995円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジあり		996,215円
米国エネルギーMLPオープン (毎月決算型) 為替ヘッジなし		996,215円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)		99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)		99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インド・ルピーコース (毎月決算型)		99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)		99,602円
国際 アジア・リート・ファンド (通貨選択型) マレーシア・リンギコース (毎月決算型)		99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (1年決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 円コース (毎月決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (1年決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 米ドルコース (毎月決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (1年決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (毎月決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (1年決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 豪ドルコース (毎月決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (1年決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ブラジル・レアルコース (毎月決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (1年決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) メキシコ・ペソコース (毎月決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (1年決算型)		9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)		9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (1年決算型)		9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ロシア・ルーブルコース (毎月決算型)		9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (1年決算型)		9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)		9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (1年決算型)		9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)		9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (1年決算型)		9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) インドネシア・ルピアコース (毎月決算型)		99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドIX (1年決算型)		12,682,871円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) マナー・プール・ファンドX (年2回決算型)		23,799,047円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジあり)		4,979円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジなし)		4,979円

US短期ハイ・イールド債オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	99,562円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジありコース (年2回決算型)	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,957円
US短期ハイ・イールド債オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,957円
優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替プレミアムコース (年2回決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジありコース (年2回決算型)	9,956円
優先証券プラス・オープン 為替ヘッジなしコース (年2回決算型)	9,956円
米国成長株オープン	996円
世界CoCosオープン 為替プレミアムコース (毎月決算型)	9,953円
世界CoCosオープン 為替ヘッジありコース (毎月決算型)	9,953円
世界CoCosオープン 為替ヘッジなしコース (毎月決算型)	9,953円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジあり) 年2回決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 毎月決算型	9,952円
アジアリート戦略オープン (為替ヘッジなし) 年2回決算型	9,952円
合計	353,746,538円